

昭島幼稚園に入ってみて…

転入児の母から頂いた手紙

うちは年中から引越して来て入りました。年少の時は別のところに住んでいて、昭島幼稚園とは全く違う感じの幼稚園でした。給食あり、送迎バスあり、お母さんたちが顔を合わせることもめったにない幼稚園で、はっきり言って逆のタイプだと思います。

それでもどうしてこの幼稚園にしたかという、他の幼稚園もいくつか見て回りましたが、子供が1番喜んだからです。うちの子供は制服が嫌いで、前の幼稚園では初めの頃2ヶ月くらい着ないで通ったくらいです。

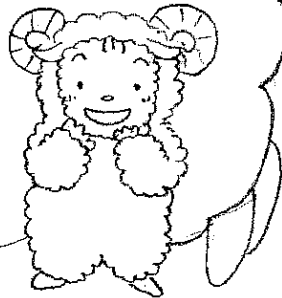
昭島幼稚園は常に子供中心に、子供のことを1番に考えて保育していると思います。(本当はそれが当たり前のなのでしょうが、最近はそのように親受けする幼稚園が多いように思います)始めは“弁当”と聞き『えっ?嫌だなあ…』という気持ちもありましたが、簡単なものをつめるだけでいいと思います。他と比べる必要もありません。送り迎えに毎日顔を合わせることでお母さんたちとも友達になれます。引越してきた我が家にとっては友達作りのよいチャンスとなりました。

先生方もとても良いです。少人数制で行き届いた保育をしてくださっていると思います。1クラス2人の先生なので余裕があります。(以前の幼稚園は1クラス1人でした)

お母さんたちは色々なシーンで幼稚園の子供たちの様子を見ることも出来ます。幼稚園行事でのボランティアというスタイルと一緒に園外保育に出掛けたり餅つきの手伝いをしたり…そしてお母さんたち手作りのバザーや出し物など、最近はこういったことを嫌うところもあるようですが私は新鮮な思いで楽しむことができました。

子供が『昭島幼稚園にして良かったね』と言ったので、本当に最初の印象でここに良かったと思いました。

子供と遊べる時間は短いものです。あと1年、昭島幼稚園で子供と一緒に楽しみたいと思います。



昭島幼稚園

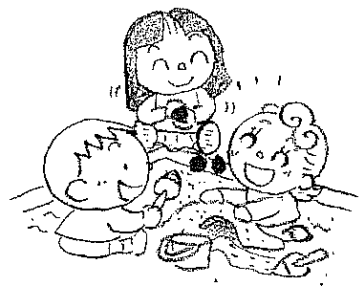
こんなところ

お母さん達の声



昭島幼稚園在園児の父母の生の声を集めました。入園をお考えの際にお役立てください。

2008年度 昭島幼稚園父母会



昭島幼稚園のこんなところがすき♪

園長先生をはじめ先生方のチームワークもよく、保育することを楽しんでいるように見えることが嬉しい。



子供と先生がそこにいるのと同じように色々な動物たちがいます。(犬・うさぎ・チャボ・あひる・オカメインコ・イグアナ・めだか・金魚...)身近に触れ合い一緒に生活することで、子供の好奇心が増し優しさも身についたように思います。



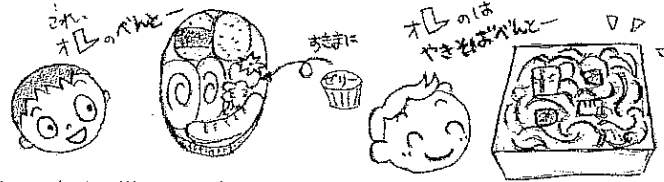
子供への愛情はもちろん、私たちに対しても『お母さんというのには本当に素晴らしい存在なのです』と包み込んでくれる理事長先生が大好きです。

毎日の送り迎えで他のお母さんと知り合うので、自然とお互いを助け合い色々な情報交換もでき安心できました。喜びも悩みも分かり合える、同年代の子を持つ母ならではの付き合いです。



卒園しても、下の子のお迎えなどについて幼稚園に来ると、先生から「久しぶり！大きくなったね～」などと声をかけられ、照れくさいながらも嬉しそう。この幼稚園は子供たちにとって、いつまでも心のよりどころだと思います。

素朴な疑問と心配事...



Q1 お弁当毎日作るのって大変？

最初は少し不安...でもすぐに慣れます。こんな感じで OK!
子供の好みや体調(アレルギー)によって量や内容を調節できるので助かっています。
'あ...冷蔵庫に何も無い!' 'あ...寝坊した~!' そんな時は当日の電話で給食も頼めます♪

Q2 毎日幼稚園まで送り迎え...負担が大きいのでは？

送迎バスに遅れる心配がなくて、逆に気が楽です。
クラスから'ただいま~'と満面の笑顔。この瞬間を見ることで毎日幸せを感じています。
'病気や雨で連れて行けない...' そんな時は近所のお母さんが一緒に連れて行ってくださったり、先生自ら送迎サポートもしてくれます。

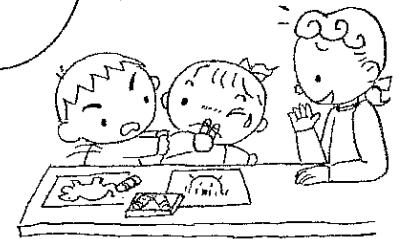
Q3 ボランティア活動ってどんなことをするの？

幼稚園行事のお手伝いをしたり、園外保育に付き添って行ったりします。『できる人ができるだけ』という感じで子供の笑顔を見ながら楽しんでいます。

Q4 園外保育ってどんなもの？

多摩の広い自然の中にひつじバスで出掛けます。元 YMCA 野外活動担当だった園長先生の必須アイテムはギターとロープ！木に括りつけた即席ブランコで遊び、ギターに合わせて子供たちは誰彼ともなくスキップを始め、歌い踊ります。
自然の中で子供たちを存分に楽しませることが出来る先生方に感服です！

遊びもケンカも子供たちの中から湧き出るエネルギー！
ひとつひとつの出来事を経験として見守ってくれる先生方のおおらかさが子供たちを安心させてくれるのかな。そのおかげで、毎日自分らしく生き生きと過ごせているようです。



プレーデーやバザー・感謝祭など行事を行うだけでなく、毎日の保育の中で自然に“ごっこ遊び”などになって広がっていく様子が微笑ましい。

